

メッセージアウトライン

コリント人への手紙 第二9:6~15 「豊かに蒔く者」

[6-7] 「私はこう考えます。少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります。ひとりひとり、いやいやながらではなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいませ」

パウロはここで、献金することを農夫が種を蒔くことに例えている。種をまくならば芽を出し、実を結び、収穫を迎えることになる。ここで言われている「少しだけ」ということばは、献金額が少ないということではなく、「けちけちして」という心の状態のことを指す。「豊かに」とは同様に献金額が多いということではなく、「物惜しみしないで」という心の状態のこと。裕福な人と比べれば少額であっても、心から喜んで惜しみなくささげる人を神は愛してくださいませ。→箴言11:24~25

献金は自発的であり、自分の心で決めたとおりを捧げるべきであるが、自分の収支を考え、神を愛し、神を第一にするという思いからささげるべきである。献金の一つの基準→マラキ書3:8~10

[8] 「神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です」
ここでは「すべて」ということが非常に強調されている。ギリシャ語原文では5回も使われている。人が生まれてから死ぬまで、その一生の間、苦しい時も悲しい時も、順調な時も逆境の時も、いつでも良いわざ、つまり神のみこころにかなった奉仕、働きのためにあらゆる恵みを神は豊かに与えることのできる方なのである。

[9] 「『この人は散らして、貧しい人々に与えた。その義は永遠にとどまる』と書いてあるとおりで」
ここでパウロは詩篇112:19を引用して彼の考えを裏付けている。貧しい人々に施すこと、ささげること、助けることは神から永遠の報いを受けることができるほどの価値あることなのである。

[10] 「蒔く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、あなたがたにも蒔く種を備え、それをふやし、あなたがたの義の実を増し加えてくださいます」

農夫が手持ちの種を蒔いてしまってもう何もないから翌年は餓死するかといえば、そうではない。豊かな実りとさらに豊かな種が与えられるのである。同様に献金についても神御自身がそのようにしてくださるのである。神を信じ喜んでささげ施す者には、神がさらにささげることができるような状態にしてください、それにとまって神の祝福という義の実も増し加えられるのである。

[11-12] 「あなたがたは、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが私たちを通して、神への感謝を生み出すのです。なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです」

神がささげる者に祝福を与えられるので、その結果あらゆる点で豊かになってさら

に惜しみなく与えることができるようになり、それは聖徒たちの必要を十分に満たすことになる。ささげることは、ささげる者と受ける者に経済的な祝福を与えるだけでなく、霊的祝福をももたらし、神への感謝を生み出し、それを満ちあふれさせるのである。それゆえ施すことができるということ自体、神の恵みと言えよう。

[13-14]「このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。また彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた絶大な神の恵みのゆえに、あなたがたを慕うようになるのです」

経済的に貧しいエルサレム教会の人々のためにささげた献金は、コリント教会の人々がキリストの福音の告白に対して従順である証拠となり、その結果、彼らは神をあがめるようになるのである。それだけでなく、エルサレム教会の人々はコリント教会を含め異邦人教会のために祈るとき、かくもすばらしく与えられた神の絶大な恵みのゆえに彼らを慕い、心と心の通い合う真の交わりを持つことができるようになるのである。

[15]「ことばに表せないほどの賜物のゆえに、神に感謝します」

これは神がそのひとり子キリスト・イエスを私たちに賜物として与えてくださったことの感謝である。たしかにキリストこそ神からの途方もない賜物であり、ことばに表せないほどの賜物である。何の価値もない、ただ罪と汚れのうちに滅ぶべき運命にあった者を、一方的に愛し救ってくださった神の驚くべき愛、その賜物としてのキリスト。私たちはこの救い主キリストが与えられていることを思う時、他の人々に対して喜んでその愛を示すことができるようになるのである。言い尽くせないほどの神の恵みによって救われた者が、その恵みを、必要を覚えている兄弟姉妹たちに表すことのひとつが献金なのである。私たちが神を愛し、豊かに蒔く者、喜んでささげる者となりたい。